

『自分を知り、世界に触れる 1 年に』

教育企画推進部 部長 勝野 啓

探究活動において最も難しいのは、「自分が本当に取り組みたい問いを見つけること」です。よくある落とし穴は、周囲の期待や社会の価値観を「自分のやりたいこと」だと勘違いしてしまうこと。だからこそ、問いを立てるときは「自分が本当に知りたいこと」を大切にしてください。

「自分は何者なのか、これからどんな人生を歩むのか」。探究活動は、その問いに向き合う一つの手段でもあります。でも、そもそも「自分を知る」って、案外難しいものです。言語化しようとする、思ったよりも言葉が出てこないことに気づくかもしれません。

まずは、こんな質問について考えてみてください。
「あなたが今、一番見たいモノ・欲しいモノは何？」
「自分は何が好きで、何が嫌いか？」
「何に心が躍り、何には興味が持てないか？」
「何に喜びを感じ、何に違和感や嫌悪感を抱くか？」
「自分が本当に大切にしたいものは何か？」
「今までどんな理由で選択をしてきたか？」

こうした問いに答えていくことで、少しずつ「自分とは何か」が見えてくるはずです。そして、その「自分」を軸にして、どんなテーマを探究してみたいのかを考えてみてください。

さらに、今年は特別なチャンスがあります。4 月 13 日から 10 月 13 日までの半年間、大阪・関西万博が開催されます。世界中の国や地域が最先端の技術を駆使したパビリオンを作り上げ、未来の社会を形にしようとしています。この万博に触れることで、「世界」と「自分」をつなげて考えるきっかけになるかもしれません。ぜひ、一度でも足を運んでみてください。

長田高校は、文部科学省が指定する「スーパーサイエンスハイスクール (SSH)」になって 4 年目を迎えました。そのおかげで、3D プリンターやサーモ

カメラをはじめ、多くの高度な実験装置が揃っています。でも、まだまだ活用しきれていないのが現状です。君が向き合いたい「問い」を見つけたら、それらの設備をどんどん使ってください。すべては、君の探究のためにあるのだから。

「問い」は、誰かに与えられるものではなく、自分自身の中から生まれるものです。探究活動を通して、「本当に知りたいこと」に出会えることを願っています。

Next Generation' s Challenge

実施報告

3 月 24 日 (月) ～ 3 月 28 日 (金) の日程で、1 年生類型生徒全員と一般クラスの希望者を対象に、「探究的手法を英語で学ぶ 5 日間英語漬けのプログラム」を実施しました。

このプログラムは株式会社 ISA の開発によるもので、本校は全国に先駆けて特色類型で導入し、今年度で 3 回目を迎えています。講師・グループリーダー (留学生) 計 8 名で実施されました。「Visual Thinking」「Design Thinking」「Storytelling」の 3 つの手法を英語で学び、日本やグループリーダーの出身国が抱える課題をこれらの 3 つの手法を用いて解決策を検討し、その内容をプレゼンテーションするというものでした。

このプログラムを通して学んだことを、2 年生での探究活動に活かしていこうという感想が多くの生徒から聞かれました。

< 生徒の感想から >

・僕はこのプログラムで 2 つのことを得ました。1 つ目は英会話に対する自信です。5 日間英語を話し続けるという簡単ではないプログラムを経たので、今後もずっと残る自信を得ることができました。2 つ目はプレゼンテーションの経験です。5 日間で 2 回プレゼンを行い、そのうちの 1 つは 1 日で計画から発表を行うというものでしたが、英語でのプレゼンでは普段とは違って発音や声の聞こえやすさや内容の分かりやすさにより一層注意が必要だったので、普段の発表とは違ったプレゼンの要素を意識

して練習する機会になりました。また、言語に関係なく、短いスパンで2回発表を行ったことで、プレゼンの経験値とプレゼンに対する自信を得られました。

最後に、グループリーダーと関わることで日本と他国との違いを知ることができました。例えば、インドネシアではゴミを収集するシステムが無いと知り、日本では当たり前のゴミ収集システムが存在しない国や地域があるということを知りました。対比することによって日本がどれほど整備されている国かを知ることができました。

日本にいながら5日間英語を話すことはなかなかないので、希少で貴重な時間でした。

・ Through this program, I have learned the importance of simply giving it a try. Speaking up can be a challenge because I need time to form a sentence, or I overthink the situation. However, I would like to lower this hurdle from now on.



春季休業中の活動報告

・物理部「科学の甲子園全国大会」出場報告

第14回科学の甲子園全国大会

令和7年3月21日(金)～24日(月)

茨城県つくば市 つくば国際会議場他

この大会は各都道府県の代表1校が集い、数学・理科・情報の技量を競い、優勝校はアメリカで行われるサイエンスオリンピックに出場します。兵庫県予選である数学・理科甲子園2024で優勝し、県代表として物理部を中心としたメンバー7名で参加しました。

数学や理科の難問を解答する筆記競技と、物理学的な実験、生物学的な実験、事前準備をしてのぞむ競技の3つの実技競技を行い、総合点で優勝を争いました。

難問に手も足もでなかったり、他県の準備のレベルの高さに圧倒されたり、実験サンプルをこぼしてしまったりと、大いに苦戦をしましたが、その状況すらも楽しみきることができ、初出場校で優秀な成績をおさめた学校に送られるジー・サーチ賞（初出場校応援賞）を受賞しました。

高エネルギー加速器研究機構（KEK）の見学やフェアウェルパーティーでのダンスの披露など、競技以外のプログラムも大いに楽しみ、非常に濃い4日間を過ごしました。



・ESS 部「Change Maker Awards」出場報告

令和 7 年 3 月 23 日(日)

東京国際交流館 プラザ平成

この大会は「私たち×○○」をテーマに、自分たちが熱中している探究活動の“成果”を英語で発信するものです。西日本ブロック決勝で銀賞を獲得し、ESS 部の選抜メンバー4 名が代表として出場しました。ESS 部では昨年夏から三宮周辺で街頭インタビューを行っています。英語を使う機会を求めて始めた活動でしたが、次第に「幸福観とは何か」に関心を持ち、外国人の方へのインタビューを通して、探究を深めました。

今回、全国大会でその成果を発信するだけでなく、他校の探究活動にも触れることができ、今後の活動に向けて新たな気づきを得ました。探究活動は今後も続きます。5 月の文化祭では、生徒参加型の展示発表も予定していますので、ぜひご覧ください！



発表形式：スライドによる口頭発表形式

発表 6 分+審査員による質疑応答 5 分程度

<昨年度の様子>



編集後記

今年度も教育企画通信をどうぞよろしくお願いいたします。SSH 事業が第 I 期の 4 年目を迎え、これまでの事業の総括と今後の展望を検討する時期でもあります。これからも、生徒の活動を「探究」と「国際交流」の視点から様々に発信していきますのでご期待ください。

人文・数理探究類型

英語プレゼンテーションコンテスト 案内

※ぜひ、3 年生の集大成を観に来てください！！

日 時：7 月 18 日（金：終業式当日）

午後 13:40 開場 14:00 開演

会 場：ピフレホール

（神戸市長田区若松町 4-2-15）

審査員：石川慎一郎 先生

（神戸大学教授 高 40 回・審査委員長）

梶田 秀夫 先生

（京都工芸繊維大学教授 高 40 回）

川崎 志慧 先生

（株式会社バックスバイノベーション研究員 高 54 回）

植松 啓 先生

（Science & Café Alchemist 胡麻主宰）

Mr. Joseph Bohman,

Ms. Nadia Gifford （長田高校）

ほか、他校 ALT および校内審査員